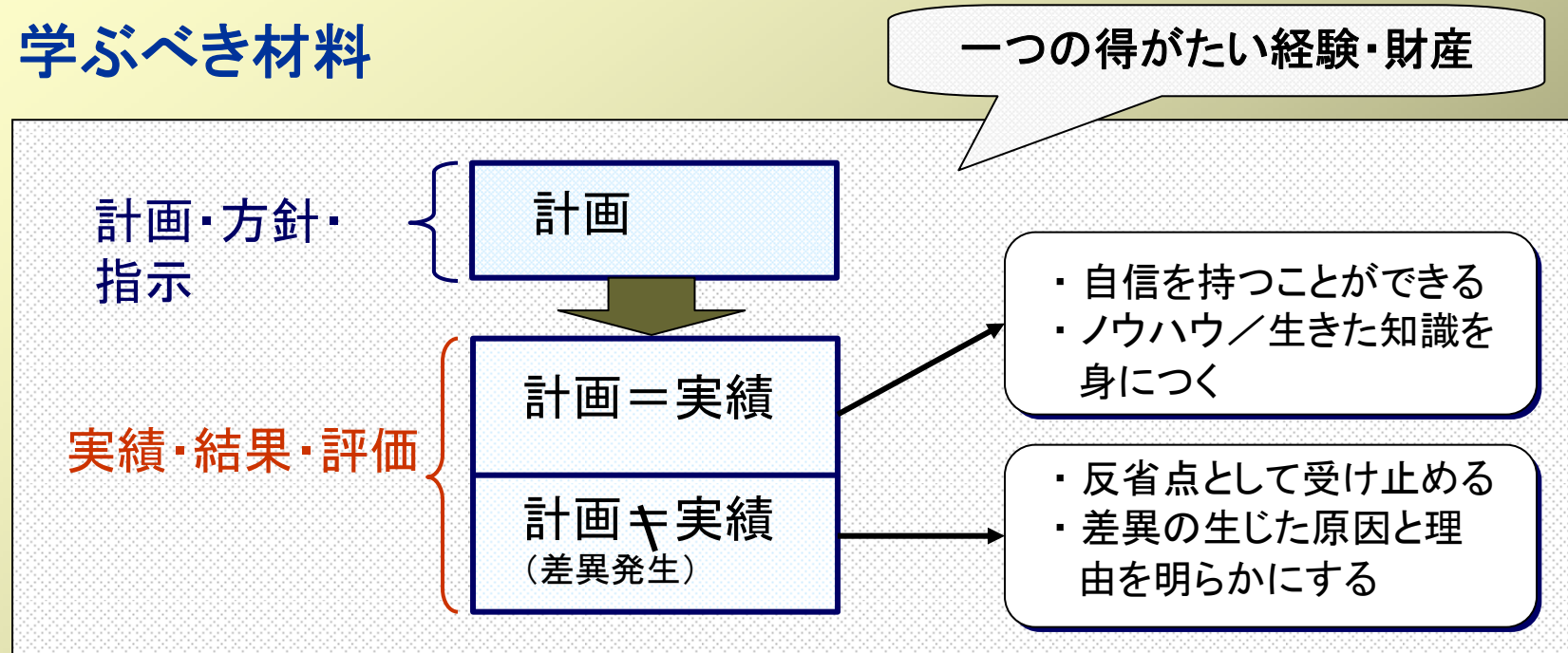


プロジェクトマネジメント向上 のために

1. プロジェクト活動の教訓と反省
2. 自信のあるプロジェクトマネジャー

1. プロジェクト活動の教訓と反省

1) 学ぶべき材料

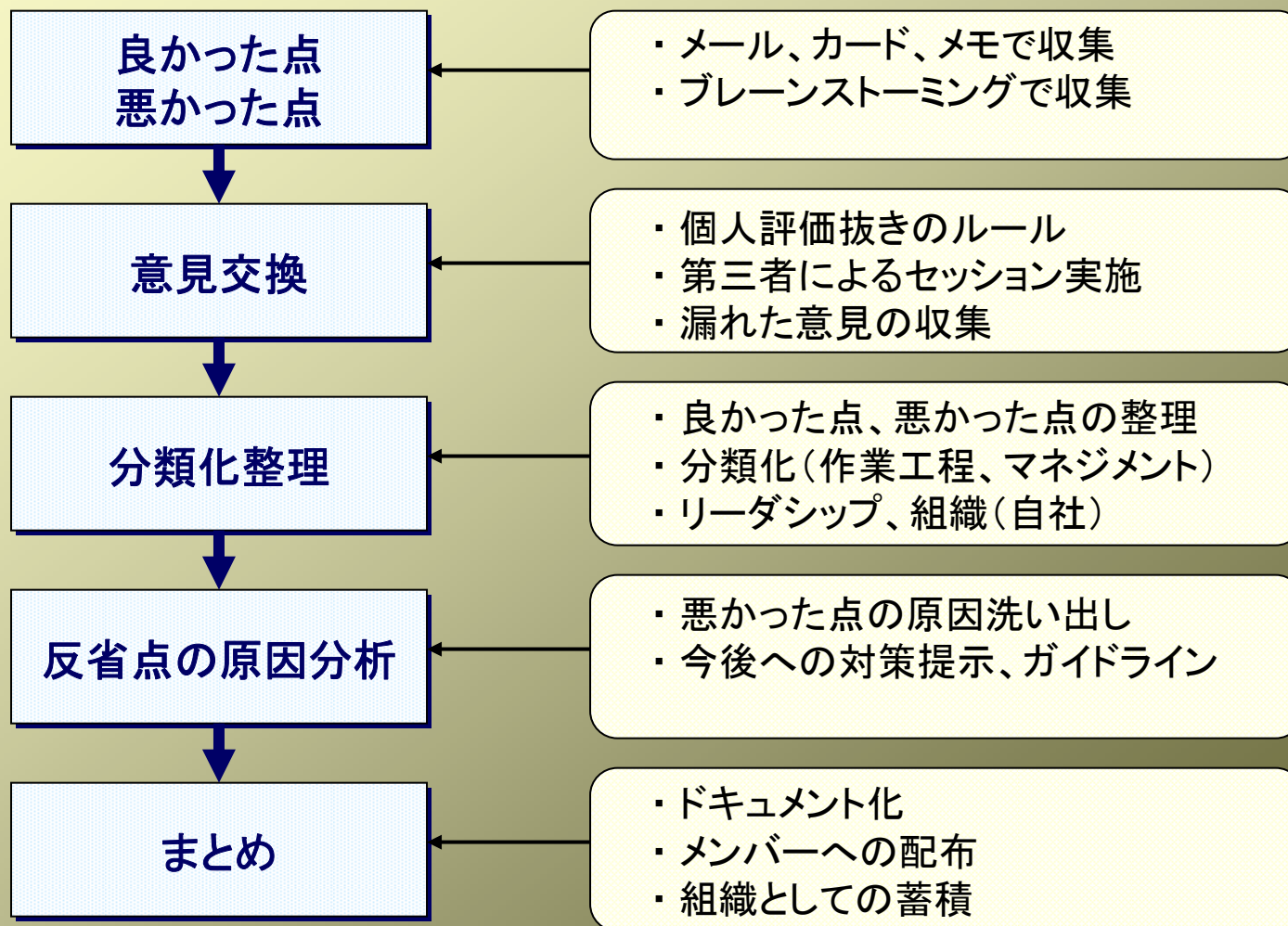


学ぶ視点

- ① 「プロジェクト、個人(自分)」として
- ② リーダシップ(組織、ユーザ、SE)に対して
- ③ 「作業工程、WBS(作業)」として
- ④ マネジメント(運営・進捗・問題・変更)に対して

1. プロジェクト活動の教訓と反省

2) メンバーの共有(反省会の実施)



1. プロジェクト活動の教訓と反省

3) 本質の見方 — ① マネジメント

失敗の根

- ・プロジェクト能力の不足
- ・プロジェクトマネジャー育成計画の不充分
- ・「上流作業工程」対応の曖昧さ

失敗の要因

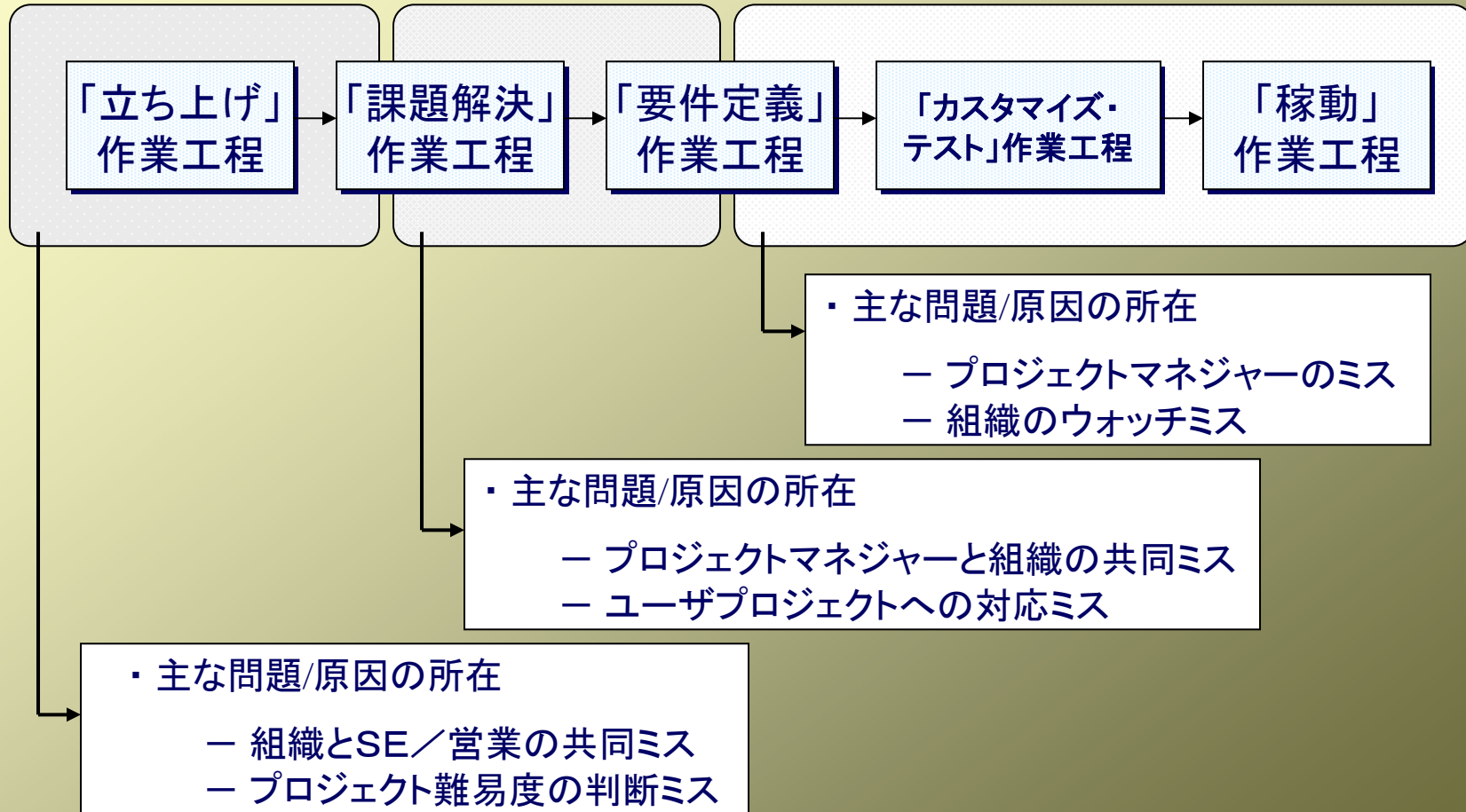
- ・技術系
- ・人間系
- ・ユーザ系

- ・「計画・方針・指示」通りの結果、実績、評価
- ・「計画・方針・指示」に対して、差異・ズレ発生
- ・「計画・方針」以外の事態・結果の発生
- ・悪かった点・反省点・原因・対策

何に対してどこが間違ったか(計画・方針・指示・指導→気づかなかった点・見落とした点・軽く見た点……)を自分自身で反省する。また、次のプロジェクトでは、「こうする」意思と対策を決める。自己啓発の面を含めて。
(自分のノート・パソコンに残す)

1. プロジェクト活動の教訓と反省

4) 本質の見方 — ② 作業工程



- 問題の現象から、それを発生させた作業工程とその原因をおさえる。
- 原因(=情報不足・判断ミス・スキル不足・..)を整理し、対策を考える。

2. 自信のあるプロジェクトマネジャー

1) 経験と自己学習

① どこから

- 「**経験**」から学ぶ

- リーダシップ、問題解決、ビジネス、経営・業務知識、応用技術、ユーザ対応

- 「**自己研修**」で学ぶ

- マネジメント、導入標準・手法、基本技術、経営・業務知識、一般知識

② 誰から

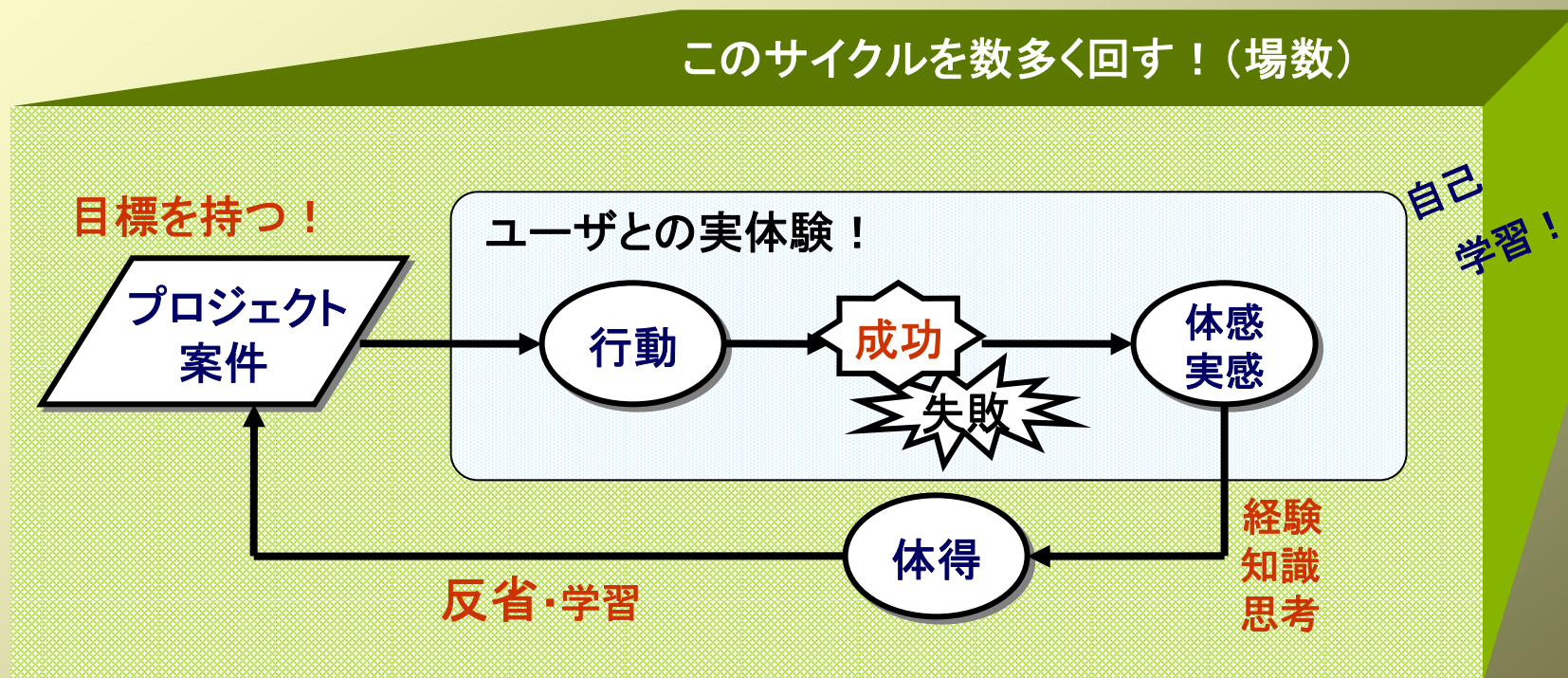
- 「**先輩**」から学ぶ → リーダシップ、マネジメント、問題解決・・・

- 「**ユーザ**」から学ぶ → ビジネス、経営・業務知識、問題解決・・・

- 「**SE**」から学ぶ → 基本／応用技術、業務知識・・・

2. 自信のあるプロジェクトマネジャー

2) 成功・失敗とサイクル



(参考-「失敗学のすすめ」著:畑村洋太郎)

- 「プロジェクトマネジャーとしての目標」を持つ
- プロジェクト完了時点で「成功・失敗要因」から学ぶ
- 成功/失敗を糧にして、このサイクルを回す

2. 自信のあるプロジェクトマネジャー

3) 姿勢とマインド

**「与えられるものは忘れるが、
つかもうとするものは忘れない」**

(NHKスペシャル「老化に挑む」鼻地三郎氏)



プロジェクトマネジャーに必要な心根

- プロジェクトマネジャーは、優秀であるより有能であらねばならない。